

ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

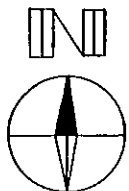
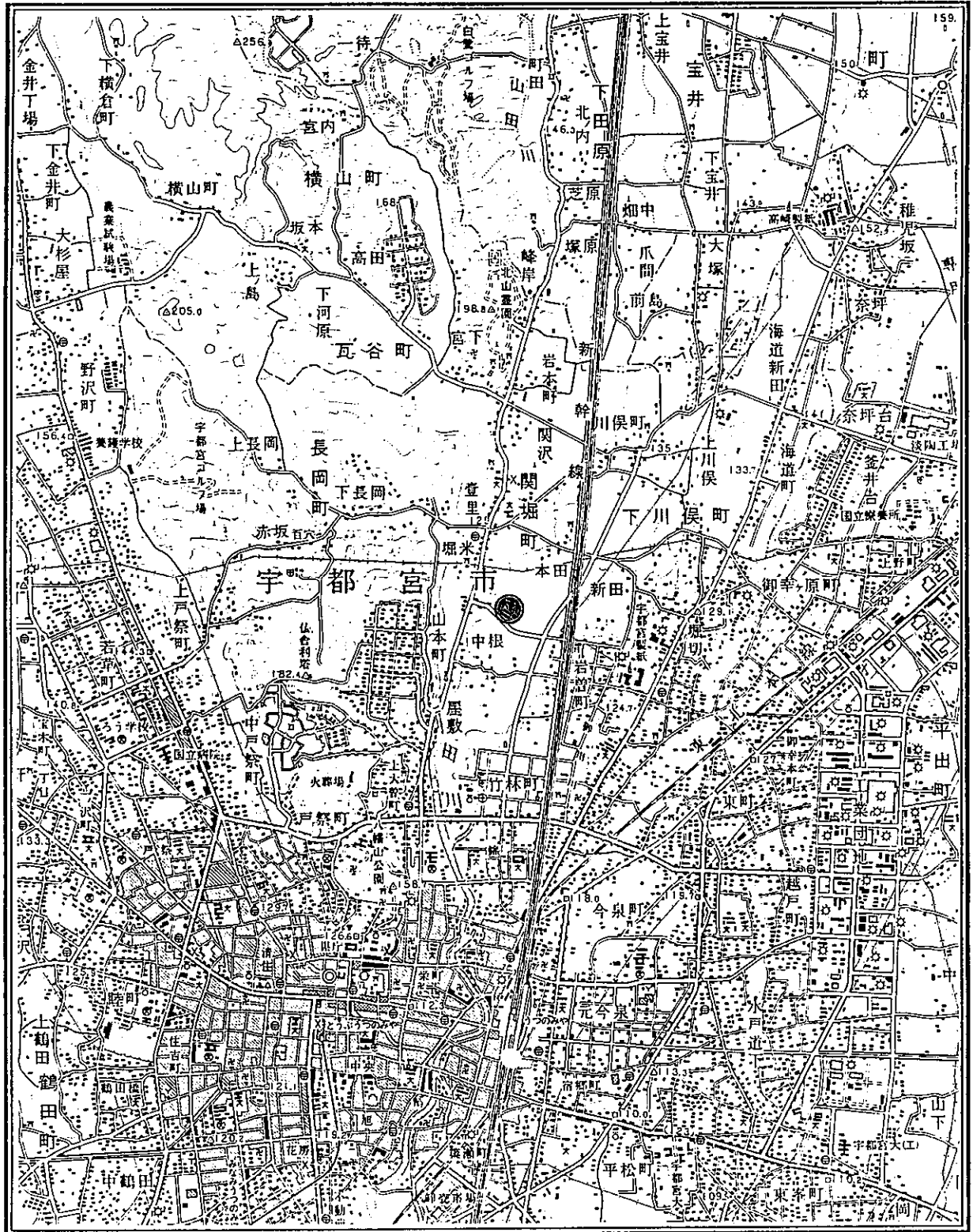
地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

ボーリング案内図

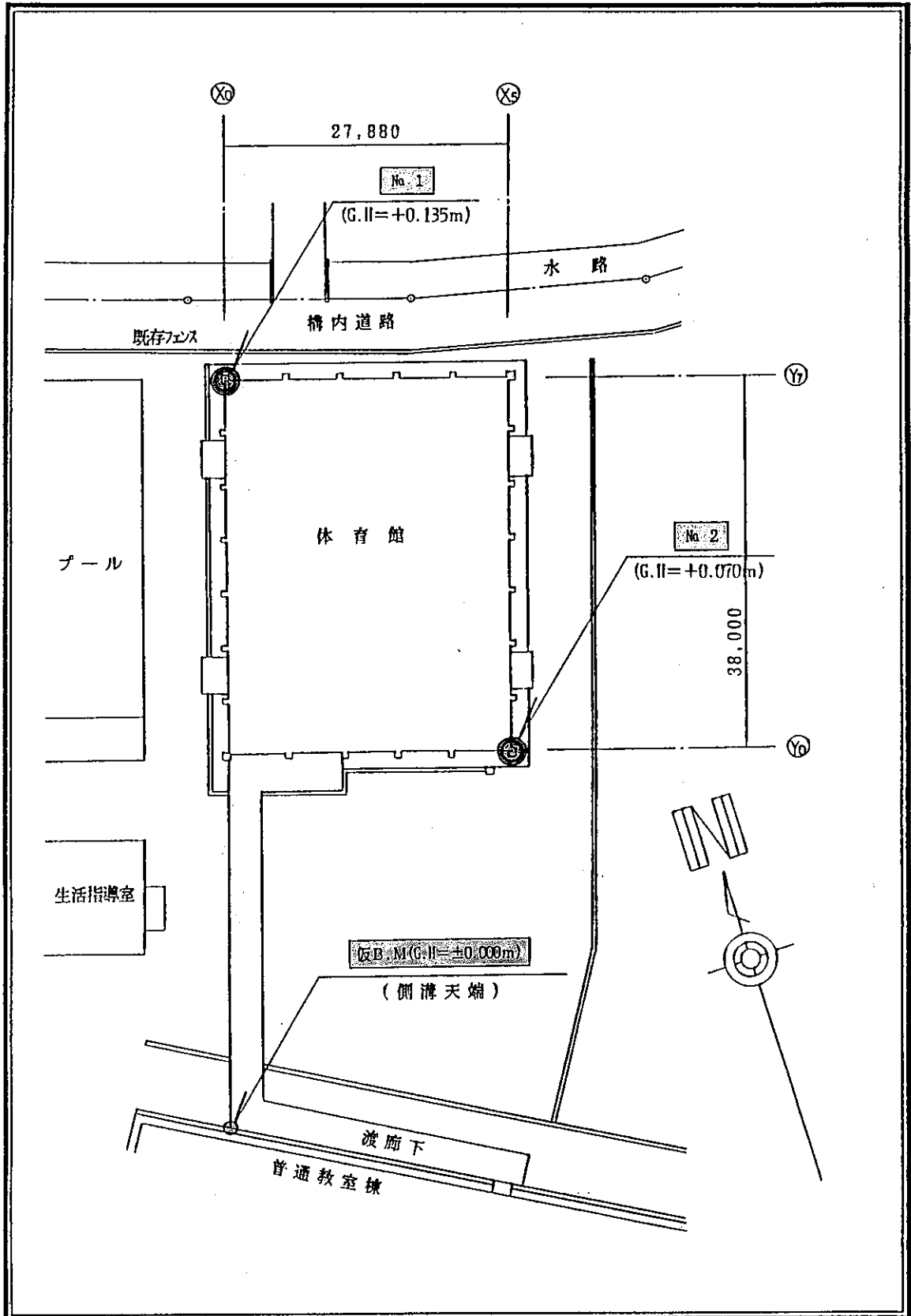
(図 - 1)



S = 1 : 50,000

ボーリング位置図

(図 - 2)



S=1:600

土質柱状図

報告用紙

調査名 宇都宮北高校体育館新築工事に伴う地質調査

調査年月日 3年 1月 19日

調査地点 宇都宮市岩倉町606

標高 70.105 m
(12.8.11 10.000m)

3年 1月 21日

ボーリング孔: No. 1

機種 O-ドリ-式

孔内水位 (自然) 泥 GL - 3.15 m

調査責任者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観察記録				標準貫入試験							採取試料・原位置試験				
				土質記号	土質名	色調	記事	深さ m	打撃回数 貫入量 μ/cm	10 cm ごと の打撃回数			74μm通過質量百分率 (%)				試料番号	測定番号	
								N 値											
								0 10 20 30 40 50 60											
0		0.60	0.60		表土暗褐色		礫混じり砂等物												
1		1.35	0.75		表土暗褐色		7mm以下の シルト等全す	1.15	10	1	20	9							
2							礫径40~10mm内 外の礫を主体とし 3.70m付近に地下 水多く崩壊激	2.15	6	1	1	4							
3							水多く崩壊激 C11. 600~700m/北	2.45											
4							径150mm内外の 石多く存在し ている。	3.15	50	13	30	2							
5							全般的に含水多 く含んでいる。	3.37	22										
6							径150mm内外の 石多く存在し ている。	4.15	7	2	2	3							
7							全般的に含水多 く含んでいる。	4.45											
8		7.70	6.35		礫混じり砂暗褐色		礫径10mm以下の 石を主体とし	5.15	45	10	15	20							
9							全体的に粘土質 を混入する。	5.45											
10							径100~150mm内 外の石を主体とし	6.15	50	16	18	16							
11							左する礫径40 10mm内外の石を	6.37	22										
12							主体とし	7.15	50	16	34								
13		11.70	4.00		粘り混じり砂暗褐色		上部を分粘土 と全す。	7.35	20										
14							13.70~14.00m に砂質粘り土を	8.15	50	31	19	1							
15							全す。	8.25	77										
16							下部に灰土を	9.15	50	14	20	30							
17							全す。	9.29	14			4							
18							下部に灰土を	10.15	40	15	13	12							
19							全す。	10.45											
20							下部に灰土を	11.15	50	17	38								
21							全す。	11.33	18			8							
22		15.25	3.53		泥岩暗褐色		上部を分粘土 と全す。	12.15	50	50									
23							下部に灰土を	12.25	10										
24							全す。	13.15	50	50									
25							下部に灰土を	13.24	9										
26							全す。	14.15	50	50									
27							下部に灰土を	14.25	10										
28							全す。	15.15	50	50									
29							下部に灰土を	15.23	8										
30							全す。												

備考 注1) 試料採取方法の記号 T: シンウォールサンプラー F: フォイルサンプラー P: 標準貫入試験用サンプラー O: オーガー D: デニソン型サンプラー 注2) 原位置試験方法の記号

調査名 宇都宮北高校体育館新築工事に伴う地質調査

調査年月日 3年 1月 25日

調査地点 宇都宮市若草町606

標高 +0.070 m (R.M.±0.000m)

3年 1月 30日

ボーリング孔: No. 2

機種 O-711-式

孔内水位(自然泥) QL-3.05 m

調査責任者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観察記録				標準貫入試験						採取試料・原位置試験					
				上質記号	土質名	色調	記事	深さ m	打撃 回数	10 cm ごと の打撃回数			74.0 μm 通過質量百分率 (%)			試料 番号	測定 番号	深さ m	方 法
								貫入量 cm/cm	10 cm	20 cm	30 cm	N 値							
0		0.00	0.00		茶土	暗褐	砂混じり砂等												
1		1.50	1.10		表土	暗褐	砂混じり砂	1.15	1										
2		1.80	0.30		砂	暗褐	砂混じり砂	2.15	20	5	7	8							
3		2.70	0.90		砂	暗褐	砂混じり砂	2.05	25	5	6	10							
4		3.00	0.30		茶	暗褐	砂混じり砂	3.15	25	5	6	10							
5					茶	暗褐	砂混じり砂	3.05	25	5	6	10							
6					茶	暗褐	砂混じり砂	4.15	33	10	11	12							
7					茶	暗褐	砂混じり砂	4.45	33	10	11	12							
8					茶	暗褐	砂混じり砂	5.15	44	9	12	23							
9					茶	暗褐	砂混じり砂	5.05	44	9	12	23							
10					茶	暗褐	砂混じり砂	6.15	50	8	30	12							
11					茶	暗褐	砂混じり砂	6.37	22	8	30	12							
12					茶	暗褐	砂混じり砂	7.15	50	30	30	30							
13					茶	暗褐	砂混じり砂	7.33	18	30	30	30							
14					茶	暗褐	砂混じり砂	8.15	50	30	30	30							
15					茶	暗褐	砂混じり砂	8.32	17	30	30	30							
16					茶	暗褐	砂混じり砂	9.15	50	17	30	30							
17					茶	暗褐	砂混じり砂	9.27	12	17	30	30							
18					茶	暗褐	砂混じり砂	10.15	50	12	30	30							
19					茶	暗褐	砂混じり砂	10.35	20	12	30	30							
20					茶	暗褐	砂混じり砂	11.15	49	9	20	20							
21					茶	暗褐	砂混じり砂	11.45	49	9	20	20							
22					茶	暗褐	砂混じり砂	12.15	34	8	11	15							
23					茶	暗褐	砂混じり砂	12.45	34	8	11	15							
24					茶	暗褐	砂混じり砂	13.15	50	12	30	30							
25					茶	暗褐	砂混じり砂	13.35	20	12	30	30							
26					茶	暗褐	砂混じり砂	14.15	50	20	30	30							
27					茶	暗褐	砂混じり砂	14.27	12	20	30	30							
28					茶	暗褐	砂混じり砂	15.15	50	30	30	30							
29					茶	暗褐	砂混じり砂	15.28	11	30	30	30							

備考

注1) 試料採取方法の記号
 T: シンウォールサンプラー F: フォイルサンプラー
 P: 標準貫入試験用サンプラー O: オーガー
 D: デニソン型サンプラー

注2) 原位置試験方法の記号